

紀北町に
伝わる民話

「種まき権兵衛」偉業 後世に

紀北町に江戸時代から伝わる民話「種まき権兵衛」を見童らに語り継ぐ。イベントが二十五日夜、同町海山区便ノ山の古民家で開かれた。(鈴木龍司)



海山でNPO 主役に扮し児童に語り継ぐ

同町で活動するNPO「ふるさと企画舎」が計画し、少林寺拳法三重海山道院に通う児童ら約三十人が参加した。

民話は、農業もせず遊びほうけていた権兵衛が、父親の死で改心し、町民のために命懸けで大蛇と対決。鉄砲で退治したが、権兵衛も命を落とすというあらすじ。同町と尾鷲市を結ぶ熊野古道

イモがゆの 食事も準備

・馬越峠が舞台で、町民が語り継いできた。

この日は、頭に手ぬぐいを巻き、権兵衛役に扮(ふん)した同舎代表の田上至さん(四七)が民話を披露。いろりを囲んで座った児童らは、身を乗り出して聞き入っていた。

また、昔の暮らしぶりを知らせてもらうと、いろりでアマゴの塩焼きや

サツマイモがゆも作っは偉い。いろりで料理すた。相賀小学校五年の玉津航君(一)は「町民のた勉強になった」と、興奮めに勇敢に戦った権兵衛気味に話していた。